

## 地区広報

# かいぞう



昨年の海蔵川堤防清掃

## 今、もう一度ゴミ問題

地球上の資源はすべて有限であり、例えば、プラスチック・ビニール・化学繊維などの原料の石油資源は、このままで行くとあと数十年で枯渇すると言われている。自然が幾億年の歳月をかけて造りあげてきたかけがえのない共有財産で、先人から次の世代へ引き継ぐ大切な「仮の預かり物」であり、省資源または、再利用と再生の大切さが叫ばれるゆえんである。

例えば、森林は石油などの化石燃料を消費したときに発生する炭酸ガスを浄化する作用を持っており、地球の温暖化、砂漠化を防ぎ、環境を守っている。古紙一トンのパルプ再生は立木（径十四cm長さ八m）二十本分の緑を守るといわれている。

リサイクル、焼却、埋め立て、そのいずれにも多くの費用が投入されているにもかかわらず、内陸部の埋立地は近い将来満杯となり、この国の美しい白砂青松を埋め立てていかなければならない悲しい現実が、そこまで来ている。

極言をすれば、「リサイクルなくば生存なし」のときが、そこまで来ており、環境破壊に、私が、そしてあなたが、拍車をかけていることに、思いを馳せるべきである。

海蔵地区の一人でも多くの方が「ゴミの減量化」と、リサイクルのために徹底した「分別」をし、有限な資源の確保に心掛けることが、先ずは第一歩ではないでしょうか。

海蔵地区の人口 総数 11,240 男 5,633 女 5,607 世帯数 3,919 (2月末現在)

編集・発行 海蔵地区社会福祉協議会・海蔵地区市民センター

印刷/阿竹印刷工業(株)

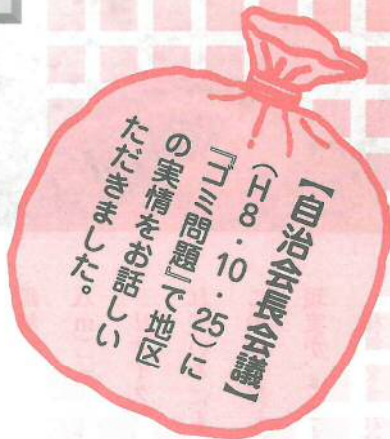
# 海蔵地区のゴミ事情

——ゴミ出しであなたのお人柄が——

- 「ゴミの立ち合いがなぜ必要なの？」
- 「自分の家だけがきれいでいいの？」

※各地区自治会長は、常にゴミ置場の管理に頭を痛めているのが現状であり、ゴミの出し方は人間としてのモラルの問題である。分別に関しても、四日市はまだまだ甘いと言われており、もっと細かい分別が必要ではないでしょうか。

『ゴミ出しは、あなたのマナーのリトマス試験紙』



## ■「ゴミ出し」の現状

- 道路の通りぬけにゴミ置場があり、他地区の人が(車などで)置いていく。
- 指定日以外にもゴミを出す人がいる。
- 黒のビニール袋を持つてくる人は、ほとんどが中身は分類されていない。
- ペットボトル(プラスチック類)が多くなっている。
- 再生ゴミの分類がよくない。
- 昨年比べてゴミの量は変わらない(12町)。減っている(3町)。増えている(7町)。

## ■地域とゴミ問題のかかわり

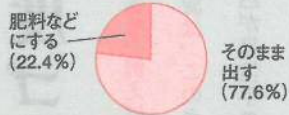
- ゴミの減量、分別の大変さを知ってもらうために当番制で出る。
- ゴミ置場をきれいにしていれば汚さない。
- 場所の指定がよいためか、ちらかされないし、気がついた人が掃除してくれる。
- 三人体制で(立ち番制)できれいになった。
- 収集日、ゴミの種類、注意事項を書いた看板を掲示。
- 組長会議、回覧などで実態報告をして注意し啓発を行っている。

## ■「ゴミ減らし」対策

- 製造、販売業者の認識(過剰包装やダイレクトメールが多い)
- ゴミ収集の有料化(5%は減量できるのでは?)
- 粗大ゴミなどまだまだ使える物があり、再利用するか、ほしい人に利用してもらう。
- 小・中学生のうちから勉強させ、モラルの向上を。
- 昔のように、容器をもって買っていく。

## 地区の方(244人)のゴミ問題アンケート (文化祭 平成8年11月3~4日にて)

### ★生ゴミはどうしていますか



### ★不要油の処理はどうしていますか



### ★衣類、不用品は交換の場を利用していますか



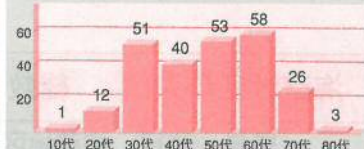
### ★家庭から出るゴミを分類していますか



### ★再生可能物を分類していますか



### ★アンケートにお答えいただいた年代構成



# ゴミ問題は 私達の一番身近な 『環境問題』…… 使い捨てからリサイクルへ



## 海蔵川堤防清掃奉仕

〜ご苦労さまです〜

平成8年3月

寒さの中、毎年三月に行われる堤防清掃、  
悲しいほどのゴミの山!!



ある町内でのゴミ出し状況

一日にどれくらいのごみが出ていますのでし  
うか。最近の全国調査によると、一日に一人一  
キロのごみを出しているという事です。出さ  
れたごみは当然、処理をしなければなりません。  
その費用もばかになりません。

私たちの四日市市も例外ではありません。年  
間約十四万トンのごみが出されます。その処  
理のために、二十五億円もの経費が費やされて、  
市民一人当たりに換算すると、おおよそ八千七  
百円にもなります。将来的には、もっと増加す  
るでしょう。

世界中がごみの中に埋もれてしまうのでし  
うか、美しい緑も、川も、海も……。

私たちが、利便さばかり求め、捨てるのも文  
化と、高度成長を目指したツケが今、来ている  
のです。

豊かな自然との共生を次代に引き継ぐため  
も、地球環境が危機的状況にあることを認識し、  
環境を再生産できる暮らしに向けて、考え方を  
変えることが迫られているのです。

# では、どうすればゴミは減りますか!

あなたにも出来る事が必ずあります。

何はともあれ 先づ

実行! 実行!!

① 買い物袋持参  
過剰包装はお断り



② リサイクルの  
きく容器を  
選ぶ



③ 無駄な物は  
買わない!

④ 買う量も  
食べる量も適量に



⑤ 不用品は進んで  
バザーや交換に!



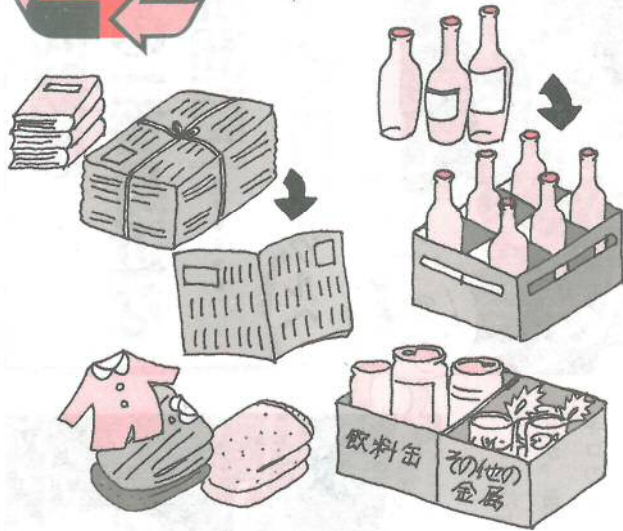
⑥ ポイ捨て禁止!!





# リサイクル!!

## みんな貴重な資源です



ゴミ出しをお世話して下さいの人

## リサイクルは小さな各自の行動から!!

私たちは、さまざまな資源を使い捨てにする社会に生きています。こうした社会を「消費社会」と呼んでいます。日本経済もこの消費によって発展してきました。自然もゴミを出します。動物の死骸や枯れ葉は微生物などによって土に分解され、新しい植物や動物が育ちます。これが自然の再生システムです。分解と再生が終わることなく循環します。

人間の社会にもこの循環のシステムが必要です。これがリサイクルです。リサイクルには二つの方法があります。再生と再利用です。リサイクルが進めば、自然とゴミの量が減少します。

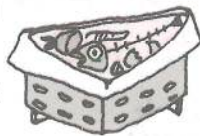
再利用は使わなくなった物やいらなくなった物を、必要な人に再利用してもらうことです。再生は鉄、アルミ、紙などを資源として再利用することです。しかし、再生するにはゴミを正しく細かく分別することから始まります。

リサイクルは、一人ひとりの小さな行動から始まります。それが地域に広がったとき大きな力となるので、私たちの住む社会に還元されるのです。

さあ、私たちに出来ることから始めましょう。

### 台所 再点検

- ① ようじや竹グシは折って紙に包む
- ② 生ゴミはしっかり水切りをする
- ③ プラスチックごみはいっしょにしない
- ④ 廃油の処理はきちんとする
- ⑤ 庭に生ゴミを埋めて肥料作りをする
- ⑥ 冷蔵庫を点検し、ムダにしない



### ゴミ減量とリサイクルで広げよう地域の輪

#### ♡ 婦人会

生ゴミの肥料『ほかし』（理事宅で販売）  
洗剤のいらぬアクリルたわし

#### ♡ 西阿倉川若生会老人クラブ

新聞、ダンボール、雑誌、アルミ缶  
ボロ布など持ち寄っている

#### ♡ 子供会＝廃品回収実施地区

西阿倉川一、二、三、四、五区、松カ丘、  
みゆきヶ丘一、二丁目、野田町、清水町

#### ♡ わかば共同作業所

衣類など（お願い＝使用可能品を寄付して下さい）  
なんでも四日の市で販売

## 広報 まるごと クッキング

野菜の皮も  
栄養源!!  
皮と身の間に滋養有

- ① 大根 } の皮の炒め物  
人参 }  
ゴマ油 しょうゆ  
拍子木切り → (しいたけ・キュウリなら 豚肉と炒めると◎!)
- ② サツマイモの皮チップ  
の皮を厚めに 3mm を → さび・シモン  
むいて ビニール袋  
でまぶす  
低温の油でゆかり揚げ
- ③ 生姜の皮の特利用法  
皮むいて レンジでチン → スープや 魚の煮付に  
小瓶で保存 ゲー?  
\* きのこの軸と 日光乾燥して 保存するとスープに便利。

# 私たちの街では、

## こんなことやっています

### みゆきヶ丘二丁目若生会の活躍

(老人クラブ)

さわやかな秋晴れの日曜日、みゆきヶ丘二丁目の若生会の皆さんが町の美化運動の一環として、公園のチューリップを植えられると、お年を感じさせない元気いっぱい、いの会長さんの指揮のもとテキパキと行動される会員の皆さんの元氣な活躍ぶりを拝見して微笑ましく感じられたものです。

まず、平成四年に竣工した集会所へ集まられ、近隣の小公園の草取りや、花壇に肥料を与えて、チューリップを植えられました。

環境問題が何かと取り沙汰されている昨今、こうしたミニ運動が、大きく輪を広げて環境のいい町づくりにつながるのではないでしょうか。



### 「海蔵の寺社」シリーズその⑥

### 正福寺



今回は本郷町にある永照山正福寺(真宗大谷派、福岡裕住職、平成三年入寺)を紹介します。

当寺は元、天台宗であったが、永正十一年三月二十一日、時の住職西了師が実如上人化導の際、上人に帰依して真宗に転じました。

昭和二十年六月十八日の戦災で堂宇焼失の際、諸記録も失ったので詳細不詳であります。

二十九年四月に本堂を再建して入佛式を執行しました。四十八年に本堂と書院

の屋根瓦の吹き替がなされて現在に至っています。

寺の祭り事や行事として修正会、春秋に永代経・報恩講・お盆会(三日間)夏休みにはラジオ体操後に本堂で子供達に正信偈のお勤めの指導をされています。

なお海蔵小学校の前身は正福寺の説教所からといわれて、当時の教えていた先生のお墓が教え子たちの手によって、明治十八年十月に建立され、釋了典法師と碑に銘されて、今も境内にのこっています。

(一部海蔵小誌より)

### 海蔵地区婦人会

一步前へ  
“自分”を

…… 年齢差を越え、  
人と人と心をつなぐ集いに参加を! ……

6月に、健康と親睦を目指すエアロビクス講座に参加しました。軽快リズムに馴れた方は、レオタードを着用し、ユーモアあふれる指導に気持ちいい汗を流しました。

この集いのあと、参加者を主体に月2回のエアロビクスサークルと発展し、現在も続いております。

初めての会、知らぬ人たちの集いに入るの勇氣もいるものです。

私たちの会では、今年度は『地域と環境』と題し、市の環境保全課長のお話、『一般常識マナー』で、基本的な知識やマナーを学びました。また『手芸』として、和紙による日本人形づくりをし、作品は文化祭出品という成果にもなりました。

一方、市の女性課長のさわやかな『輝ける女性とは』の講座では、『自分』をしっかりと生き、周りの人たちと心をつなぐこと……など、心にひびくお話もあって感動しました。

こうした集いのあとには、皆さんの声を大切にしながら、つねに前進を心がけております。

その他、恒例で年二回の料理教室、春には名所旧跡を見学し、グルメを楽しむ一日親睦旅行を行っています。『環境』『健康』『福祉』など文化的な活動にも積極的に取り組んでいます。これからの婦人会の課題は、家事や子育ての悩み、暮らしの中での問題などを年齢差を越えた中で話し合い、地域とのつながり、地域の課題、みんなの願いを大切にしながら、女性の立場からよりよいふるさと海蔵づくりに向かって進みたいと願っています。



平成8年3月から平成9年2月まで

# カメラがとらえた地域活動



▲福祉体験教室 8/10 熱心に介護の勉強



▲フラワーアレンジメント 3/16  
出来映えはどうか もちろんOKよ……。



▲人権を考える集い 10/12  
「わかり合おう“うめぼし”と“キムチ”のきもち」



▲広報写真一日入門 10/13  
さて、カメラマンになれるかな？



▲バレンタイン手作りプレゼント 2/9  
誰にあげたのでしょうか！ (料理教室)  
他にも クリスマス テーブルセッティング……12/23  
ひなまつりすしパーティー……3/2



▲クリスマスパーティー 12/22  
クイズにダンス楽しかったヨ



まだまだいっぱいあるけれど  
今回初めて行われた  
行事を中心に載せました

▼津軽三味線民謡コンサート 6/23



▶山手中学校  
生徒さんの作品です



▲New Year チャリティコンサート 1/12  
学童保育に愛の資金をありがとう

楽しい行事が待っていますので  
ぜひご参加下さいネ



何点できましたか  
腕前はどうかかな？  
▲新春ボーリング大会

1/19



うまく作れたでしょうか  
しめ縄づくり  
11/30文庫主催

おさかな料理教室  
主催 北勢公設市場魚食普及協議会



魚のさばき方  
活きのいい魚で  
見事な包丁さばき

2/19

▶星座観察

夏につづいて移動天文車  
「きらり号」がきました



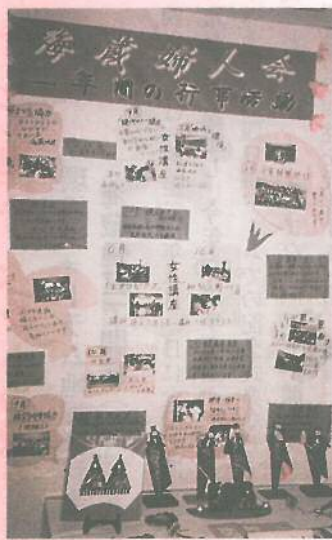
◀市の環境保全課長のおはなし



▼手芸で紙人形を作りました



▶婦人会 一目でわかる一年間の行事



女性講座 (5回シリーズ)  
「さりげなく、美しい人をめざして」

- ①エアロビクス……………6/8
- ②地域と環境……………8/10
- ③一般常識マナー……………9/14
- ④手芸……………10/12
- ⑤輝ける女性とは……………H9.1/11

婦人会主催

## 活躍する卒業生その数約10,000名

## 山手中50周年



### 山手中学校 歴史を積んで半世紀

山手中学校は、昭和二十二年四日市市立北中学校（昭和二十三年二月に四日市市立山手中学校と改称）として開校、今年五十年の記念すべき年を迎えます。

この間、社会情勢の変遷とともに、風雪また山あり谷ありの幾多の試練を乗り越え、伝統ある地域の中学校として、皆が誇れる今日の姿であります。これは、歴史の諸先生方の教育にける情熱は無論とし、「私たちの中学校」と言う全地元住民の熱い想いも、これに寄与して大なものがあるうかと考えられます。

関係者により、五十年記念事業実行委員会が組織され、この節目を機会に過ぎし歩みを振り返り、明日への発展と次の時代を背負う健全な生徒たちの育成を願い、記念行事の数々が企画されています。

一万名を超える同窓会会員の皆様とともに、私たち地元住民全員も、この慶事を地域の慶びとし、山手中学校の今後益々の充実発展を祈りたいとおもいます。

## 幼稚園 50周年

## 一人ひとりの個性や創造力・感性の開花を!

海蔵幼稚園は、昭和二十二年六月十八日に、地域の皆様方の熱い思いと、戦後復興への願いをかけて、私立海蔵幼稚園として創立されました。

当時、幼稚園が幼児の発達に必要な教育の場であるとの認識の高まりの中で、翌年、四日市市立海蔵幼稚園となり、今年創立五十周年を迎えます。「幼稚園」はドイツの幼児教育家フレーベルの提唱による「子どもの庭」を意味し、庭園の草花が庭師の心のこもった世話によってそれぞれの美しさを発揮するように、子ども一人ひとりが個性や創造力、感性を開花される花園であるべきだとする教育理念を今に受け継いでいます。

創立五十周年という大きな節目を迎えることが出来ますのも、海蔵幼稚園に携わって下さった多くの方々のご尽力の賜物と感謝いたします。

この機会に歴史を振り返り、これからの幼児教育を考えることも有意義なことと考え、五十周年記念実行委員会を発足し、来る六月二十二日（日）に記念式典をすべく準備を進めています。また、六月十五日から二十二日迄、センターにて、記念の写真、資料展を開催する計画を立てています。

幼稚園に関する貴重な資料がありましたら、ご一報いただきますよう、よろしくお願いたします。



連絡先/四日市市立海蔵幼稚園  
☎ 31-6986

## ことしは 市制施行 100周年



多彩な市行事  
そして地区イベントの数々

「環境フォーラム地域分科会」も  
海蔵地区で開催（十月十八日）

四日市市は、明治三十年八月一日に全国で四十五番目の市として誕生し、今年100周年を迎えます。その記念すべき年を、四日市ドームでの記念式典などでみんなが祝うとともに、さまざまなイベントが開催されます。

四日市の個性を代表する「市」「環境」「港」をテーマにしたメインイベント、地区の特性を生かした地区イベント、地球市民四日市環境フォーラムなどが開催されます。

当海蔵地区では、地区イベントと環境フォーラム地域分科会の開催が予定され、現在、地区推進委員会を設置し具体的な計画が検討されています。特に、地区イベントでは、海蔵音頭（仮称）の制作や駅前モニュメントの建設などが計画されており、また、環境フォーラム地域分科会では、十月十八日に、シンポジウムでの実践発表や交流会などを通じて海外の環境保全に取り組む人たちとの交流を深めていただきます。また、この分科会では、通訳ボランティアの方の募集もしています。

このたびの、地区イベント・環境フォーラムの開催に向けてみなさま方のご協力をお願いします。



「車の窓から無造作に投げ捨てられる空き缶、タバコの吸い殻、自分の車の中は、きれいにしたいからでしょう。」

家庭からのゴミを集積所に出し、集積所からゴミが集められていけば終わりでしょうか？  
ゴミは、どこかに集められています。減ることなく、増えつづけているのです。」

私たちときとくてもきれいなゴミ問題を取り上げました。

（広報部員一同）